

レーザーマイクロダイセクション利用手引き

(ver. 1.1)

仕様

Laica LMD7000

<http://www.leica-microsystems.com/jp/products/light-microscopes/life-science-research/laser-microdissection/details/product/leica-lmd7000/>

利用する上での注意点

レーザーマイクロダイセクション用のライカ純正スライドグラスに試料切片を各自でご準備ください。供する試料によって、固定法、切片の作製、レーザー照射条件等が異なり、相当の予備実験が必要になります。これらの予備実験は、使用者自身に行っていただきます。

この機器は通常 RNA 調製用試料を扱っておりますので、それに準じた取り扱いにて作製した試料切片をご用意ください。

また RNA 調製目的の場合、実際のレーザーマイクロダイセクション操作に入る前に、試料切片全体から調製をした RNA の品質を示すデータ (RIN number など) を提示していただきます。RNA の質が適切でない場合、お断りする場合があります。

本利用申請では、LMD7000 による試料の切り出しのみを受付けております。その後の微量試料からの RNA 調製やトランスクリプトーム解析等は含まれませんので、ご注意ください。

利用の流れ

- ① 事前打ち合わせ：試料、予備実験、サンプル数、時期、必要情報、共同研究の必要性等。
- ② 申請書の提出、審査
- ③ 利用者により作製された試料切片の持ち込み：低温にて持参（推奨）かクール宅急便にて送付
- ④ LMD7000 によるダイセクション
- ⑤ ダイセクション試料の凍結
- ⑥ ダイセクション試料を持ち帰る。

参考論文

費用負担

消耗品は各自で負担してください。また機器の保守点検料の一部をご負担いただく場合があります。

Authorship

研究成果を発表する際は、Acknowledgments 等に以下の記載をお願いします。

「This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network.」

また、支援内容によっては共同研究という形になることがあります。

連絡先

demura@bs.naist.jp 出村拓（植物代謝制御研究室 教授）

m-tasaka@bs.naist.jp 田坂昌生（植物形態ダイナミクス研究室 教授）